

生命予後を改善する透析療法の標準化指針

(無断の掲載、転写、引用、改変を禁止)

2023年6月30日作成

1 低栄養と炎症を認めない場合

1) 導入早期からの軽度～中等度の低アルブミン血症を許容した積極的なアルブミンリークおよび血清アルブミン濃度を指標にした透析条件の適宜変更

2) 透析条件：血液流量 220～350 mL/min 以上、透析 4 時間以上、膜面積 2m² 以上
Kt/V 1.4 以上

3) 透析器内圧の上昇予防：後希釈オンライン血液透析濾過では血液流量 280～350mL/min の確保

II-b 型高アルブミンリーク膜スーパーハイフラックス血液透析

↓
血清アルブミン濃度の低下程度により II-b 型中～低アルブミンリーク膜を使用

(アルブミンリーク 6g/回以上必要な時)

↓
高アルブミンリーク膜少量液置換後希釈オンライン血液透析濾過

血清アルブミン濃度の低下程度により中～低アルブミンリーク膜を使用

(十分な血液流量を確保できない時)

高アルブミンリーク膜少量液置換前希釈オンライン血液透析濾過

血清アルブミン濃度の低下程度により中～低アルブミンリーク膜を使用

2 低栄養と炎症を認める場合

1) 血清アルブミン濃度低下の防止

低アルブミンリーク膜前希釈オンライン血液透析濾過

または、II-a 型低アルブミンリーク膜スーパーハイフラックス血液透析

2) アミノ酸損失防止のために低血液流量などによる必要最低限度の Kt/V 確保